

Biacore T200 使用ルール

- ・装置の使用開始時にセンター利用申込書を提出して下さい。
- ・初めて使用する人は必ず使用法を習熟した人の指導のもと使用して下さい。
- ・次の予約者に受け継ぐ際は流路の洗浄をしっかりと行って下さい。特に、界面活性剤または BSA など吸着しやすい物質を含んだランニング緩衝液を使用後は、Wash Buffer Tubing を行ってください。(日本語取扱説明書基本操作編 p160)
- ・予約は基本として1週間を超えないようにして下さい。もし1週間を超える測定になる場合は他の使用者に連絡して下さい。
- ・予約は、創薬センター・化合物スクリーニングに関連する予約については1ヶ月前から、それ以外の実験は2週間前からとします。
- ・メンテナンスに必要な試薬・消耗品はセンター保管の試薬・物品を使用してかまいません。必要なときは薬品庫・物品庫から出すのでセンター職員に声をかけて下さい。
- ・プレートやバイアル、ランニング緩衝液などの消耗品は原則各自で用意して下さい。化合物スクリーニングに関連する実験の消耗品については別途ご相談下さい。
- ・メンテナンスおよびサンプルの測定に共通の試薬・物品を使用したい場合は使用数、使用量等をセンター職員に報告して下さい。
- ・ランニング緩衝液は BiacoreT200 専用のものを使用して下さい。
- ・使用するサンプル、ランニング緩衝液はフィルターを通して下さい。
- ・センサーチップを新規にセットした際は、Normalize を実施して下さい。
- ・チップや消耗品は、化合物スクリーニング及び創薬センター関連の使用の場合、センターのものを使用させていただいて構いません。チップは、サンプルごと使用し、他のサンプルとコンタミネーションしないようにして下さい。それ以外の場合は、各自で購入し管理して下さい。
- ・スタンバイ状態で放置する場合は、ランニング緩衝液を涸らさないように注意して下さい。この際、廃液ボトルの空き容量にも注意して下さい。
- ・作製するプロジェクトには所属の名前を入れて下さい。
- ・使用後の試薬・緩衝液・物品は装置使用終了後、各自で整理して下さい。
- ・緩衝液の入った瓶には作成の日付と所属、組成を記載して下さい。
- ・電源を落とす前には、必ずメンテナンスを実行し、システム内部が超純水に置換されているか確認して下さい。
- ・何かトラブルがあった場合は必ずセンター職員に報告して下さい。

2012.11.15 改

メンテナンスについて

日本語取扱説明書基本操作編 p151 を参照して下さい。

ランニング緩衝液には、超純水を使用してください。メンテナンス時はメンテナンス用試薬によりセンサーチップ表面に固定化しているリガンドは破壊されてしまうので、必ず **Sensor Chip Maintenance** (or 使用済センサーチップ) を使用してください。

- ・クルードサンプルや不溶性サンプル利用時には、実験終了後に **Desorb** を実施してください。